

ワイヤレススピーカー AT-SPB70BT

BOOGIE BOX

取扱説明書



リファレンスガイド

お買い上げありがとうございます。

こちらのページは取扱説明書 **リファレンスガイド**、

裏ページは取扱説明書 **ユーザーマニュアル** で構成されております。

ご使用前に、この取扱説明書のすべてをよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

また、保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

安全上の注意

本製品は安全性に充分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起ることがあります。事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

| | |
|-----------|---|
| 危険 | この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫しています」を意味しています。 |
| 警告 | この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。 |
| 注意 | この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。 |

本体について

| | |
|---|---|
| 警告 | |
| ●心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以内の場所では使用しない ペースメーカーが、本製品の電波の影響を受ける恐れがあります。 | ●異常に気付いたら使用しない 異常な音、煙、臭いや発熱、損傷などがあつたら、すぐにコンセントから抜き、お買い上げの販売店が当社サービスセンターに修理を依頼してください。 |
| ●本製品を医療機器の近くで使用しない 電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与える恐れがあります。医療機関の屋内では使用しないでください。 | ●分解や改造はしない 感電、故障や火災の原因になります。 |
| ●本製品を航空機内で使用しない 電波が影響をおよぼし、誤作動による事故の原因となる恐れがあります。 | ●強い衝撃を与えない 感電、故障や火災の原因になります。 |
| ●自動ドアや火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない 電波が影響をおよぼし、誤作動による事故の原因となる恐れがあります。 | ●濡れた手で触れない 感電やけがの原因になります。 |
| ●付属のACアダプター以外使用しない 故障、不具合の原因になります。 | ●水をかけない 感電、故障や火災の原因になります。 |
| ●本製品に異物(燃えやすい物、金属、液体など)を入れない、置かない 感電、故障や火災の原因になります。 | ●布などで覆わない 過熱による火災やけがの原因になります。 |
| | ●同梱のポリ袋は幼児の手の届く所や火のそばに置かない 事故や火災の原因になります。 |
| | ●周囲が覆われている、風通しの悪い場所、熱のこもる場所には設置しない 過熱による火災やけがの原因になります。 |

注意

| | |
|---|--|
| ●不安定な場所に設置しない 転倒などによりけがや故障の原因になります。 | ●火気に近づけない 変形、故障の原因になります。 |
| ●直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない 故障、不具合の原因になります。 | ●ペンジン、シンナー、接点復活保護液などは使用しない 変形、故障の原因になります。 |
| | ●キャリングハンドルを持って振り回さない けがや故障の原因になります。 |

ACアダプターについて

警告

| | |
|--|---|
| ●AC100V以外の電源には使用しない 過熱による火災など事故の原因になります。 | ●コードを引っ張らず、プラグを持ってまっすぐ抜き差しする 断線、故障の原因になります。 |
| ●本製品以外には使用しない 過熱による火災など事故の原因になります。 | ●コードの上に物を置いたり、敷物や家具などの下に入れたりしない 断線、故障の原因になります。 |
| ●異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気付いたら使用しない 異常に気付いたらすぐに使用を中止して、コンセントから抜きお買い上げの販売店が当社のサービスセンターに連絡してください。そのまま使用すると、火災など事故の原因になります。 | ●分解や改造はしない 感電によるけがや、火災など事故の原因になります。 |
| ●コードは伸ばして使用する。釘などで固定や、束ねたままでの使用はしない 過熱による火災など事故の原因になります。 | ●強い衝撃を与えない 感電によるけがや、火災など事故の原因になります。 |
| | ●布などで覆わない 過熱による火災など事故の原因になります。 |

ACアダプターについて (つづき)

警告

| | |
|--|--|
| ●コンセントや本体にプラグを差し込むときは根元まで確実に差し込む 過熱による火災など事故の原因になります。 | ●プラグにたまったほこりなどは乾いた布で定期的に拭き取る 過熱による火災など事故の原因になります。 |
| ●濡れた手で触れない 感電によるけがの恐れがあります。 | ●ペンジン、シンナー、接点復活剤など薬品は使用しない 変形、故障の原因になります。 |

注意

| | |
|--|---|
| ●長時間使用しないときは、コンセントから抜く 省エネルギーにご配慮ください。 | ●通電中のACアダプターに長時間触れない 低温やけどの原因になることがあります。 |
| ●定に引っ掛かりやすい場所にコードを引き回さない 故障や事故の原因になります。 | |

電池について

危険

| | |
|---|--|
| ●電池の液が漏れたときは素手で液を触らない 液が本製品の内部に残ると故障の原因になります。電池が液漏れを起こした場合は、当社サービスセンターまでご相談ください。 | ●皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。皮膚に違和感がある場合は医師の診察を受けてください。 |
| ●万一、なめた場合はすぐに水道水などのきれいな水で充分にうがいをし、医師の診察を受けてください。 | ●電池の液が目に入ったときは目をこすらない すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、医師の診察を受けてください。 |

警告

| | |
|---|---|
| ●火の中に入れてない、加熱、分解、改造しない 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。 | ●硬質やカギなど金属製のものと一緒に場所に置いたり、電池の(+)と(-)を接続しない ショート状態になり液漏れ、発熱、破裂の原因になります。 |
| ●幼児の手の届く所に置かない 電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師の診察を受けてください。窒息や内臓への障害の恐れがあります。 | ●新しい電池と一度使用した電池、銘柄や種類の違う電池を混ぜて使用しない 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。 |
| ●電池は(+) (-)を逆に入れない 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。 | ●乾電池は充電しない 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。 |
| ●長期間使用しない場合は電池を取り出す 液漏れによる故障の原因になります。 | ●使い切った電池はすぐに取り出す 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。 |

注意

| | |
|--|---|
| ●落下させたり強い衝撃を与えない 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。 | ●変形させたりハンダ付けしない 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。 |
| ●以下の場所で使用、放置、保管しない ・直射日光の当たる場所、高温多湿の場所 ・炎天下の車内 ・ストーブなどの熱源の近く 液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因になります。 | ●保管、廃棄の場合は端子(金属部分)をテープなどで絶縁する 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。 |
| ●水に濡らさない 発熱、破裂、発火の原因になります。 | ●機器を使用したあとは必ずスイッチを切る 液漏れの多くは、スイッチの切り忘れによる電池の消耗が原因です。 |
| ●外装ラベルがはがれた電池は使用しない、ラベルをはがさない ショート状態になりやすく、液漏れ、発熱、破裂の原因になります。 | ●指定の電池以外使用しない 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。 |
| | ●使用済みの電池は自治体の所定の方法で処分する 環境保全に配慮してください。 |

使用上の注意

- ご使用の際は、接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 万一、Bluetooth機器のメモリーなどが消失しても、当社では一切責任を負いません。
- 交通機関や公共の場所では、ほかの人の迷惑にならないよう、音量にご注意ください。
- 本製品の近くに電子機器や発信機(携帯電話など)があると本製品にノイズが入る場合があります。その際は、離して使用してください。
- ラジオを接続しないでください。ラジオの音声にノイズが入ることがあります。
- テレビやラジオのアンテナ付近で使用すると、テレビやラジオにノイズが入る場合があります。その際は、離して使用してください。
- ブラウン管のテレビやモニターの近くに設置すると色むらが起こる場合があります。その際は、離してご使用ください。
- 本製品の近くに磁気に弱いもの(キャッシュカードなど)を置かないでください。磁気の影響を受ける場合があります。
- 本製品は、大理石や白木などデリケートな材質には直接設置しないでください。
- 本製品は長い間使用すると、紫外線(特に直射日光)や摩擦により変色することがあります。
- 本製品の電源をON/OFFしたときに「ポツ」と音が出る場合がありますが故障ではありません。
- プラグは根元まで確実に差し込んでください。
- 本製品の電源を切ってから、プラグの抜き差しを行ってください。

●φ3.5mm ステレオミニジャックのヘッドホン端子、ピンジャックの出力端子以外の機器と接続する場合は、適切な変換プラグアダプターをお買い求めください。

Bluetooth 製品について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から別の移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の電源をお切りください。そのうえで、当社お客様相談窓口にご連絡頂き、混信回避のための処置についてお問い合わせください。
3. その他、この機器から第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合

2.4FH1

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。
変調方式としてFHSS変調方式を採用し、干渉距離は10mです。

※本製品は、各国の電波法の適合または認証を取得している国でのみ使用できます。
販売国以外では使用できません。

本製品は日本の電波法の技術基準に適合しています。貼り付けられているラベルはその証明ラベルです。証明ラベルの貼り付けられた製品を総務省の許可なしに改造、または証明ラベルをはがして使用することはできません。これに違反すると法律により罰せられます。

ほかの機器との同時使用

Bluetooth搭載機器・無線LANを使用する機器・デジタルコードレス電話・電子レンジなど、本製品と同一周波数帯（2.4GHz）の電波を使用する機器の影響によって音声が途切れるなど電波干渉による障害が発生することがあります。同様に、本製品の電波がこれらの機器に影響を与える可能性もあるため、下記の点に注意してください。

- － 本製品と同一周波数帯（2.4GHz）の電波を使用する機器を離して設置する。
- － 病院内／電車内／航空機内では使用しない

使用上の注意

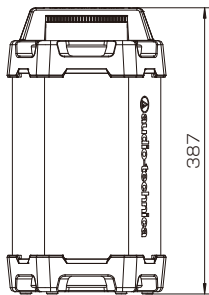
本製品と接続する機器は、Bluetooth SIGの定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。

Bluetooth標準規格に適合していても、特性や仕様によっては、本製品と接続できない場合や、操作方法や動作が異なる場合があります。

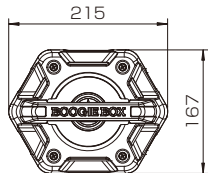
外形寸法図

(単位：mm)

正面



上面



テクニカルデータ

通信仕様

| | |
|---------------------|----------------------------|
| 通信方式 | Bluetooth 標準規格 Ver.3.0 |
| 出力 | Bluetooth 標準規格Power Class2 |
| 最大通信距離 | 見通しの良い状態で10m以内 |
| 使用周波数帯域 | 2.4GHz帯 (2.402~2.480GHz) |
| 変調方式 | FHSS |
| 対応 Bluetooth プロファイル | A2DP |
| 対応コーデック | SBC |
| 対応コンテンツ保護 | SCMS-T方式 |

その他

| | |
|--------|---|
| 電源 | DC12V(付属のACアダプターを使用)、単2形アルカリ乾電池×8本(別売)または単2形ニッケル水素電池×8本(別売) |
| 入力端子 | φ3.5mmステレオミニジャック、ピンジャック |
| 使用可能時間 | 22時間(単2形アルカリ乾電池使用時)* 17時間(単2形ニッケル水素電池使用時)* |
| 質量 | 約3.2kg(電池除く) |
| 使用温度範囲 | 0~45℃(結露なきこと) |
| 外形寸法 | H387×W215×D167mm |
| 付属品 | ACアダプター AD-SL1220AO φ3.5mmステレオミニケーブル(50cm) |

スピーカー部

| | |
|-----------|----------------------------------|
| 型式 | アンプ内蔵スピーカーシステム |
| スピーカーユニット | φ60mmフルレンジ φ100mmウーファー |
| 最大出力 | 10W (フルレンジ：2.5W + ウーファー：7.5W) |
| 再生周波数帯域 | 45~20,000Hz |

*使用条件により異なります。
記載されている時間はBluetooth接続時のものです。
(改良などのため予告なく変更することがあります。)

故障かな?と思ったら

電源が入らない

新しい電池に交換してください。

本製品に電池を正しい向きに入れてください。

本製品に付属のACアダプターを接続してください。

ペアリングができない

当社ホームページで、適合機種をご確認ください。

Bluetooth 機器の通信方式が Ver.2.1+EDR 以上で使用可能です。

本製品と Bluetooth 機器の距離を 1m 以内に近づけてください。

Bluetooth 機器のプロファイルを設定してください。設定方法は、Bluetooth 機器の取扱説明書をお読みください。

音が出ない / 音が小さい

本製品と接続機器の電源を入れてください。

本製品と接続機器の音量を大きくしてください。

Bluetooth 機器の場合、音声出力先を Bluetooth 接続に切り替えてください。

有線接続で使用する場合はペアリングボタンを押し、Bluetooth 接続を解除してください。

音が割れる / ノイズが出る / 音が途切れる

本製品と接続機器の音量を小さくしてください。

本製品を電子レンジ、無線LANなどの機器から離してください。

本製品からテレビ、ラジオやチューナー内蔵機器を離してください。
これらの機器に影響を与える場合があります。

接続機器のイコライザー設定をオフにしてください。

Bluetooth 接続の場合、本製品と Bluetooth 機器の間に障害物をなくし、距離を近づけてください。

Bluetooth 接続の場合、接続する Bluetooth 機器の設置場所を、本製品に近づけるか、地面から30cm以上の位置に置くことで改善されます。

新しい電池に交換してください。

※ Bluetooth 機器の操作に関しては、機器により操作が異なるため、お持ちの Bluetooth 機器の取扱説明書をお読みください。

※ 不具合が解消されない場合は、本製品の電源をお切りください。

Bluetooth 対応携帯電話の情報について

Bluetooth 対応携帯電話の適合リストについては、当社ホームページまたはお客様相談窓口でご案内しています。

PCサイト <http://www.audio-technica.co.jp/atj/support/>

* TOPページ > 一般製品 > 製品適合リスト

モバイルサイト <http://www.audio-technica.co.jp/i/>



※ Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の所有であり、株式会社オーディオテクニカは、ライセンスに基づきこのマークを使用しています。
他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。

アフターサービスについて

本製品をご家庭用として、取扱説明や接続・注意書きに従ったご使用において故障した場合、保証書記載の期間・規定により無料修理をさせていただきます。修理ができない製品の場合は、交換させていただきます。お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いします。

お問い合わせ先(電話受付 / 平日9:00~17:30)

製品の仕様・使いかたや修理・部品のご相談は、販売店または当社窓口およびホームページのサポートまでお願いします。

●お客様相談窓口(製品の仕様・使いかた) ☎ 0120-773-417
(携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0211)
FAX: 042-739-9120 Eメール: support@audio-technica.co.jp

●サービスセンター(修理・部品) ☎ 0120-887-416
(携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0212)
FAX: 042-739-9120 Eメール: servicecenter@audio-technica.co.jp

●ホームページ(サポート)
www.audio-technica.co.jp/atj/support/

株式会社 オーディオテクニカ

〒194-8666 東京都町田市西成瀬2-46-1

<http://www.audio-technica.co.jp>

192301960B

ワイヤレススピーカー AT-SPB70BT

BOOGIE BOX

取扱説明書

audio-technica

ユーザーマニュアル

お買い上げありがとうございます。

こちらのページは取扱説明書 **ユーザーマニュアル**、
裏ページは取扱説明書 **リファレンスガイド** で構成されております。
ご使用前に、この取扱説明書のすべてをよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

各部の名称と機能

ペアリングインジケータ

本製品の Bluetooth 接続動作状況をインジケータで表します。

ダンスモードインジケータ

ダンスモードに設定されている際に緑色に点灯します。

ボリュームインジケータ

最大音量の状態が続いて + を押すと赤色に点滅します。
※それ以上、音量は上がりません。
最小音量の状態が続いて - を押すと赤色に点滅します。
※それ以上、音量は下がりません。

電源インジケータ

本製品の電源が入っている際に青色に点灯します。

ペアリングボタン

Bluetooth 機器との接続 / 接続解除を行います。

ダンスモードボタン

音質モードの変更を行います。

ボリュームボタン (+)

ボリュームを上げます。

ボリュームボタン (-)

ボリュームを下げます。

キャリングハンドル

本製品を持ち運ぶときに使用します。

電池カバー

電池を使用する際に、固定ネジを回して、外します。

固定ネジ

電池カバーをロックします。

電源スイッチ

本製品の電源を ON/OFF します。

音声入力端子 (φ3.5mm ステレオミニジャック)

外部機器と付属のφ3.5mm ステレオミニケーブルを用いて接続します。

音声入力端子 (ピンジャック)

外部機器と別売のピンケーブルを用いて接続します。

DC 入力端子 (DC IN 12V)

付属の AC アダプターを接続します。

スピーカーを準備する

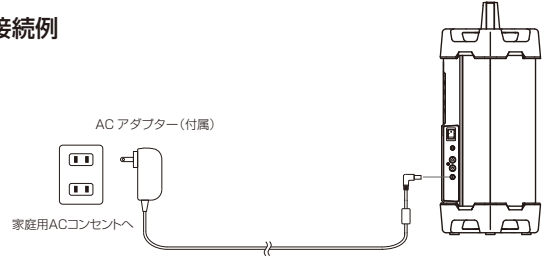
本製品は、ACアダプター(付属)または指定電池が必要です。
電池を入れたままACアダプターを使用した場合は、ACアダプターの電源が優先されます。

※本製品の電源が入っていないことを確認してください。

ACアダプター(付属)で使用する場合

付属のACアダプターを本製品のDC入力端子と、家庭用ACコンセントにそれぞれ接続します。

■ 接続例



電池で使用する場合

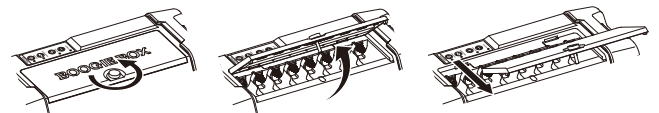
「電池の入れかた」を参照し、単2形アルカリ乾電池×8本(別売)または単2形ニッケル水素電池×8本(別売)を入れてください。

■ 電池の入れかた

1 本製品の電源が OFF であることを確認します。

2 電池カバーを外します。

* 下図の番号順に電池カバーを取り外してください。

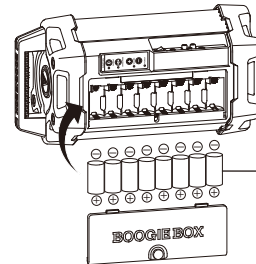


① 矢印の方向に回してゆるめます

② 持ち上げます

③ 外します

3 単2形アルカリ乾電池×8本(別売)または単2形ニッケル水素電池×8本(別売)を図のようにケース内の(+)と(-)表示にあわせて入れます。



4 電池カバーを外す順番と逆の手順で取り付けてください。

接続のしかた

Bluetooth 機器との接続

ペアリングについて

本製品と Bluetooth 機器を接続する場合は、本製品とペアリング(登録)する必要があります。一度ペアリングをすれば、再びペアリングする必要はありません。ただし、以下の場合は再度ペアリングが必要です。

- ・修理などを行った場合
- ・ Bluetooth 機器の接続履歴から削除された場合
- ・ 9台以上のペアリングをした場合
(本製品は合計 8 台までペアリングすることができます。8 台分をペアリングしたあとに、新たな機器をペアリングすると、8 台の中で接続した日時が最も古い機器のペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。)

初めて本製品と接続する場合(ペアリングのしかた)

※ Bluetooth 機器の取扱説明書も併せてお読みください。
※ Bluetooth 機器を本製品の 1m 以内に置いてペアリングを行ってください。

- 1 電源スイッチを押し、電源を ON にします。

電源インジケータが青色に点灯します。



- 2 ペアリングボタンを長押し(約6秒)して、本製品をペアリングモードにします。

ペアリングインジケータが青・赤交互に点滅します。

・ペアリングされないまま3分経過するとペアリングインジケータが消えます。

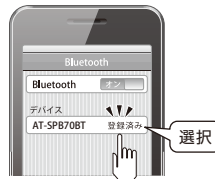


- 3 接続する Bluetooth 機器でペアリング操作を行い、本製品を検索します。

※ Bluetooth 機器によっては、Bluetooth を ON にすると自動で検索する場合があります。

- 4 本製品を検索すると Bluetooth 機器に「AT-SPB70BT」と表示されます。「AT-SPB70BT」を選択し、接続する機器に登録してください。

機器によっては、パスキー*を要求される場合があります。その場合は、「0000」を入力してください。
*パスキーは、パスコード、PIN コード、PIN ナンバー、パスワードと呼ばれる場合があります。



- 5 ペアリングが正常に行われると、ペアリングインジケータが青色に点灯し、接続完了です。



次回からの接続は、「2回目以降の接続(ペアリング済み)の場合」から接続してください。

2回目以降の接続(ペアリング済み)の場合

※ Bluetooth 機器の取扱説明書も併せてお読みください。

- 1 ペアリングボタンを押します。



- 2 接続機器の Bluetooth を ON にします。

- 3 ペアリングインジケータが青色に点灯すると、接続完了です。

- ・本製品との接続が完了するまでは、ペアリングインジケータは青色の点滅状態になります。
- ・自動接続されない場合は、Bluetooth 機器から接続操作を行ってください。
- ・接続されない場合は、「初めて本製品と接続する場合」を参照し、再度接続を行ってください。

- 接続されないまま3分経過すると、ペアリングインジケータが消灯します。
- 本製品の電源を切った場合は、その時点での状態(Bluetooth 接続など)が記憶されます。再び電源を入れたときは、最後に記憶されている状態で立ち上がります。

Bluetooth 機器との接続を切る場合

※ Bluetooth 機器の取扱説明書も併せてお読みください。

- 1 ペアリングボタンを押します。



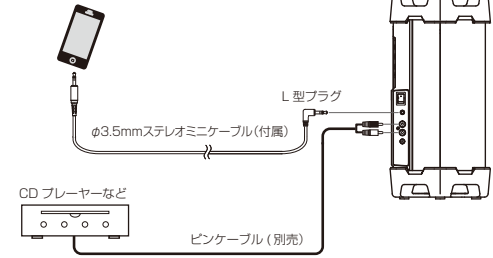
- 2 ペアリングインジケータが消灯すると、Bluetooth 機器との接続が切断されます。

その他の機器との接続(有線での接続)

※接続する機器の取扱説明書も併せてお読みください。

■ 接続例

ポータブルプレーヤーなど



付属のφ3.5mm ステレオミニケーブルの L 型プラグを、本製品の音声入力端子(φ3.5mm ステレオミニジャック)に、ストレートプラグを接続する機器のヘッドホン端子に、それぞれ接続します。ピンケーブル(別売)を使用する場合は、本製品の音声入力端子(ピンジャック)へ接続してください。

- ペアリング中は、Bluetooth 機器の音楽再生が優先されます。ケーブル接続した機器の音楽は再生されません。
- 有線接続で使用する場合はペアリングボタンを押し、Bluetooth 接続を解除してください。
※ペアリングインジケータが消灯します。

使いかた

本製品は、Bluetooth 接続を行い音楽を再生することができます。Bluetooth 機器のアプリケーションなどの動作は保証できませんので、あらかじめご了承ください。

接続する

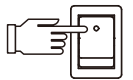
接続する機器と本製品を接続してください。

※「スピーカーを準備する」「Bluetooth 機器との接続」を参照ください。

電源を入れる

電源スイッチを押し、電源を ON にします。

電源インジケータが青色に点灯します。



音楽を聞く

接続する機器の取扱説明書に従って、音楽を再生してお楽しみください。本製品では下記の操作ができます。

ボリューム(+/-)

+ : 3 段階の調整が可能で、最大音量になるとボリュームインジケータが赤色に点滅します。

- : 3 段階の調整が可能で、最小音量になるとボリュームインジケータが赤色に点滅します。



- φ3.5mm ステレオミニジャックとピンジャックを同時に接続している場合は、両方の音源がミックスされた状態で音楽が再生されます。
- 過大な音量にすると、歪みや音切れが生じます。

ダンスモードについて

本製品は、低音を増加する「ダンスモードボタン」を搭載しています。
※初期設定ではオフになっています。

- 1 ダンスモードボタンを短押しすることにより、ダンスモードインジケータが緑色に点灯し「ダンスモード」になります。

- 2 再びダンスモードボタンを短押しするとダンスモードインジケータが消灯し、通常の音質に戻ります。
好みにあわせてご使用ください。



- 本製品の電源を切った時点での音質モードの状態が記憶されます。再び電源を入れた際には直前のモードで立ち上がります。

電源を切る

使用後は、ボリュームを最小にしてから電源スイッチを OFF にしてください。



- 長時間 AC アダプターを使用する場合は、本製品から電池をすべて取り出してください。
- 使用中に、音切れ・ノイズ音・音声の歪みなどが発生したり、電源インジケータが点滅・消灯した場合は、電池残量が不足していますので電池を交換してください。